

5-FU+I-LV療法

外科: 管理番号 D201

処方医:

適応症: 大腸癌

6週投与2週休薬を1クールとして投与を繰り返す

身長: cm 体重: kg
 体表面積: m²

投与	投与	投与	投与	投与	投与	休	休	投与
1	8	15	22	29	36	43	50	57(1)

[投与スケジュール] (クール目)

DAY 1 (月 日) DAY 8 (月 日) DAY 15 (月 日)

DAY 22 (月 日) DAY 29 (月 日) DAY 36 (月 日)

薬剤名	投与量		
生食100mL デキサート	1袋 6.6mg	30分(本管)	薬剤師: _____ ←投与5分前からクワイセブ-30分(炎症)
生食500mL レボホリナート 250mg/m ²	1瓶	2時間(本管)	
生食100mL フルオロウラシル注 600mg/m ²	1瓶	レボホリナート投与開始1時間後から20分かけて(側管)	
ソリタ1号輸液 200mL	1瓶	30分(本管)	

[DLF]

フルオロウラシル: **白血球減少・口内炎および下痢**
 フルオロウラシル: **肝障害時用量調節**

[適正使用基準]

	今回投与量	累積投与量
*1. 口内炎がない	mg	mg
*2. 下痢がない	mg	mg
3. TS-1が投与されていないかまたは投与中止後7日以上経っている	mg	mg
*4. 重症感染症またはその疑いがない	mg	mg
5. PS (Performance Status)が0~2である	mg	mg
6. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。	mg	mg
血液一般検査	*WBC (/μL)	4000 ≤
	Neut (/μL)	1600 ≤
	PLT (/μL)	15万 ≤
	HGB (g/dL)	11.0 ≤
血清生化学検査	GOT (IU/L)	≤40
	GPT (IU/L)	≤35
	TBil (mg/dL)	≤1.2
	BUN (mg/dL)	≤20
	Cr (mg/dL)	≤1.1

[フルオロウラシル]

TBIL <5	100%
TBIL >5	中止

[DLF以外の重大な副作用]

《5-FU》・脱水症状 (激しい下痢等)

- ・出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎 (激しい腹痛・下痢等)
- ・ショック、アナフィラキシー様症状 (発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等)
- ・白質脳症 (歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等)
- ・うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症 (疲労感・息苦しさ・むくみ・胸痛・胸部圧迫感等)
- ・急性腎不全 (むくみ・尿量低下等)
- ・間質性肺炎 (咳・息切れ・呼吸困難・発熱等)
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全 (食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等)
- ・消化管潰瘍 (食欲不振・腹痛・吐血・下血等)
- ・急性膵炎 (腹痛・腰背痛・発熱・嘔吐・血清アミラーゼ値上昇等)
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) * 肝動脈内投与時 (腹痛・発熱・黄疸等)

- ・手足症候群【手掌・足趾の紅斑・疼痛性発赤腫脹・知覚過敏等】
- ・臭覚障害、嗅覚脱失（長期投与症例に多い）

